

2026年2月10日

各 位

会 社 名 日本フェンオール株式会社
代表者名 代表取締役社長 中野 誉将
(コード番号 6870 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 管理本部長 中島 昭
電 話 03-3237-3561

通期業績予想値と実績値の差異及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり2025年7月31日に公表いたしました2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）通期業績予想値と本日公表の実績値との差異及び、2025年12月31日を基準日とする剰余金の配当について下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想値の修正について

（1）2025年12月期通期連結業績予想値（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 12,900	百万円 900	百万円 860	百万円 930	円 錢 165.85
実 繢 値 （B）	12,909	1,056	1,144	1,247	222.39
増減額（B-A）	9	156	284	317	
増 減 率（%）	0.1	17.3	33.0	34.1	
（ご参考）前期実績（2024年12月期）	12,515	1,181	1,359	1,115	198.99

（2）修正の理由

売上高につきましては、概ね予想値に近い実績値となりましたが、利益面につきましては、S S P部門におけるガス消火設備等の竣工や、サーマル部門・消防ポンプ部門の堅調な推移等により売上総利益が増加したことに加え、販売費及び一般管理費が想定を下回ったこと、及び投資株式の配当金が増加したこと等により、営業利益及び経常利益が前回発表予想を上回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は上記の理由に加え、特別損失として計上していた製品改修関連損失引当金繰入額について、現時点における今後の費用発生見込額を精査した結果、一部を戻入したこと等により、前回発表予想を上回る結果となりました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決 定 額	前回予想 (2025年2月10日公表)	前年実績
基 準 日	2025年12月31日	同左	2024年12月31日
1株当たり配当金	39円00銭	37円00銭	37円00銭
配当金総額	220百万円	—	209百万円
効力発生日	2026年3月30日	—	2025年3月31日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。具体的には、株主資本配当率（DOE）3.5%程度を目安として配当を実施する方針です。

期末配当金につきましては、予想では1株当たり37円としておりましたが、S S P部門、サーマル部門及び消防ポンプ部門の業績が堅調に推移したことに加え、全社的な費用抑制効果等により、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回りました。つきましては、上記基本方針に基づき、当期の業績動向や今後の経営環境、財務状況等を総合的に勘案した結果、前回発表予想から2円増額し、1株当たり39円にいたします。

これにより、当期の年間配当金は、第2四半期末配当金（37円）と合わせて、前期実績から2円増配の1株当たり76円となります。

(ご参考) 年間配当の内訳は次のとおりです。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2025年12月期予定	37円00銭	39円00銭	76円00銭
2024年12月期実績	37円00銭	37円00銭	74円00銭

以 上